

2021年4月2日

各位

太陽生命保険株式会社
代表取締役社長 副島 直樹
東京都中央区日本橋2丁目7番1号

2021年度 入社式 社長メッセージ（要旨）

T&D保険グループの太陽生命保険株式会社（社長 副島直樹）は、2021年4月1日に、99名（総合職51名、一般職46名、担当職2名）の新入社員を迎えました。以下に社長メッセージの要旨を紹介します。

1. 入社にあたって

皆さんの入社を心より歓迎します。この1年を振り返ると、コロナ禍の影響を大いに受けた1年と言わざるを得ませんでした。皆さんの学生生活もいつもと異なるものとなったことでしょう。

社会にとって新型コロナウイルスによる影響は大きなパラダイムシフトになると言われています。この大きな変革の波は誰にでも押し寄せます。このような時代だからこそ、変化を前向きにとらえ、新たな時代を若い世代として牽引していくという気持ちで、社会人生活を元気に明るくスタートさせて欲しいと思います。

2. 太陽生命の今

この30年を振り返ると、誰も予測できなかった変化が起こりました。それでも当社が、今日までお客様や社会に支えられ成長を続けることができたのは、私たちが常に時代を先取りし、その変化に対応し続けてきたからです。

この1年、生命保険業界にも大きな変化がありました。在宅勤務などの働き方の変化、非対面募集などの営業手法の変化、そしてデジタル戦略の変化、また新たなチャネルや商品・サービスなど、多くの課題が意識されるようになりました。しかし、このような課題は、コロナ禍以前から存在していたものであり、コロナ禍を契機に浮き彫りになったに過ぎません。

当社は、コロナ禍においても変化に対応し、力強さを示すことができました。当社がこの1年、10年、20年、30年と大きく成長してきた背景には、大きな時代の流れを見据えて、付け焼刃でない建設的な仕事に粘り強く、全社員一丸となって取り組んできたことがあげられます。

「着眼大局、着手小局」という言葉があります。このような時代だからこそ、全体を俯瞰して、一つひとつの仕事を着実に成功させていくこと。それを実行し続けてきたからこそ、太陽生命の今があります。

3. これからの変化

太陽生命は創業以来128年の歴史がありますが、その歴史のなかでも次の大きな発展に向けた出発点に来ていると思います。新しい時代、令和の時代、デジタルの時代、まさにこれから始まる本格化する時代が、後世にどのように評価されるかは分かりません。しかし、変化に対応し続けてきた太陽生命にとって、これからの時代は大きなチャンスに満ちた時代になると、私は確信しています。

世の中は常に大きく変化していきます。今ある仕事も10年後にもあるとは限らないでしょう。だからこそ、皆さんの成長が必要なのです。まずは、自分自身を変える勇気を持ち、変化することを恐れずに社会人生活を送っていただきたいと思います。

皆さんには、未来があります。その未来を信じて、研鑽に励み、経験を積んで、実力を養ってほしいと願います。これから皆さんには、多くのことを学んでいただきます。そして、誇りと品格を備えた一流のビジネスパーソンとなれるよう、励んでいただきたいと思います。ここにいる皆さん全員が、これから元気に生き活きと活躍されることを祈念しています。

以上